

1. ゆりかもめ安全報告書発行にあたって

いつも「ゆりかもめ」をご利用いただき、ありがとうございます。

本年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、東日本の広大な地域に甚大な被害をもたらしましたが、開業から16年目を迎えた「ゆりかもめ」にとってもこれまで経験したことのない災害となりました。地震発生時には14本の電車が運行していましたが、車両や電気設備等が損傷したものの、幸いにもお客様には全員無事に安全な場所に避難していただくことができました。お客様方の冷静な行動と御協力に対して心より感謝申し上げます。

「ゆりかもめ」におきましては、これまでもお客様の安全を最優先の課題として位置づけ、日々の保守、改修作業に努めるとともに、定期的に関係する保安対策委員会における諸課題の検討、総合的観点に基づいた「運輸安全マネジメント」の実施、また事故・災害時を想定した実践的訓練などを重ねてきたところですが、今回の東日本大震災の経験を貴重な教訓として捉え、さらなる安全対策の向上、深化に努めてまいります。

今回の大震災に伴い、使用電力の抑制や経済状況の低迷といった厳しい状況は今日も続いており、その解決にはなお長い期間を要すると予想されますが、弊社といたしましては、今後とも多くのお客様に親しまれ安心してご利用いただける、また環境にも適合した公共交通機関「ゆりかもめ」としてさらなる充実発展をめざしてまいります。

本報告書は、鉄道事業法にもとづいて、輸送の安全を確保するための平成22年度の弊社の取り組みや安全の実態についてとりまとめ、広く皆様にご理解いただくために作成いたしました。安全管理の一層の充実を図っていくため、この報告書に対するご意見、ご感想をいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 矢口 幸一

2. 安全方針

当社では、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

ゆりかもめ安全方針

私たちは、お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない「新交通ゆりかもめ」をめざします。

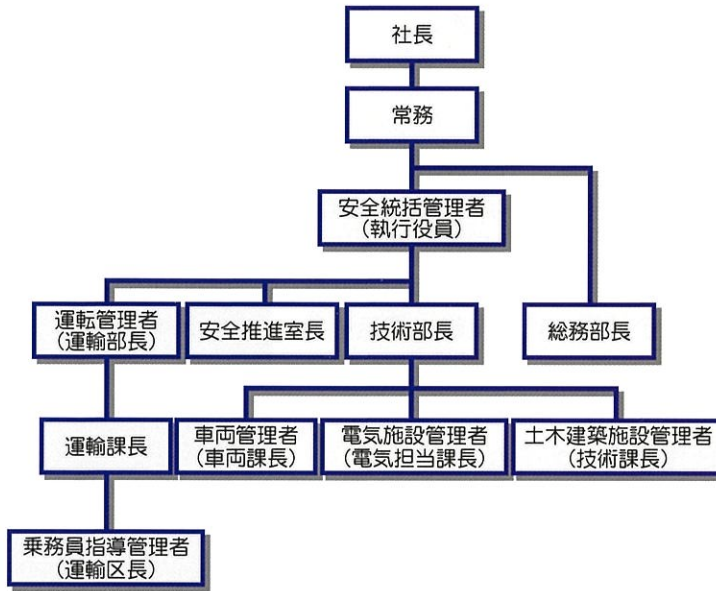
このため、

- 日々、法令・規程を遵守し、忠実に職務を遂行します。
- 情報を迅速かつ正確に伝えて共有化し、事故の芽を摘むことに努めます。
- 常に安全に対する問題意識を持ち、必要な改善に取組みます。
- 事故・災害等の発生時は、人命救助を最優先に行動します。

3. 当社の安全管理体制

【1】安全管理組織図

当社では、社長を筆頭とする安全管理組織を構築しています。各責任者の責務を明確にし、安全確保に取り組んでまいります。



【2】役職と責務

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する
安全推進室長	安全統括管理者の指揮の下、事故防止に関する事項を統括する
総務部長	安全統括管理者と連携し、輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務、人材に関することを統括する
運輸管理者	安全統括管理者の指揮の下、運輸に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運輸管理者の指揮の下、動力車操縦者の資質保持に関する事項を管理する
土木建築施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、土木・建築施設に関する事項を統括する
電気施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

【3】保安対策委員会

ゆりかもめの運行における、運転事故・災害事故防止及び保安対策のため、社長、役員、管理職及び現場長をメンバーとした保安対策委員会を開いています。年5回の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催されます。



4. 平成22年度事故・輸送障害等の概要

【1】運転事故

運転事故の発生はありませんでした。

【2】輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

平成22年度は、輸送障害が次の3件発生しました。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけしました。

- 平成22年5月24日 扉の異常を検知したことによる非常停止
- 平成23年2月19日 飛来物の影響による停電
- 平成23年3月11日～12日 東北地方太平洋沖地震による運休

【3】インシデント (事故の兆候)

事故の兆候であるインシデントはありませんでした。

5. 輸送の安全確保のための取組み

【1】安全重点施策

平成23年度の安全重点施策を次のとおり定めて取り組んでいます。

区分	項目	平成23年度目標
安全の確保	動力車操縦者の養成	4人が動力車操縦者運転免許を取得する
	異常時訓練の充実	地震に対応する訓練などにより実践的な訓練を実施し、異常時対応の全体的なレベルアップを図る
走行路及びポイントの保全	走行路の補修 (4年計画の3年目)	芝浦ふ頭駅から青海駅間の走行路を補修する
	ポイント部品の交換 (2年計画の1年目)	本線のポイント部品52台のうち32台について取替えを実施し、安全運行に備える
保安設備の機能維持	高圧ケーブルの引替	レインボーブリッジの一部区間において、ケーブル絶縁診断の結果に基づき、老朽化等で劣化したケーブルを更新する
	デジタル列車無線装置の新設 (3年計画の1年目)	機器製作の仕様を決定し、各機器設置場所の詳細設計を実施する
障害復旧時間の短縮	障害復旧訓練の強化	・電車線短絡、地絡事故を想定した訓練を実施する
		・電力不足を想定した設備の停電復電訓練を実施する ・ポイント故障を想定した復旧訓練を実施する
安全・安定輸送の確保	車両の保安装置の更新 (6年計画の4年目)	対象車両11編成のうち、2編成の保安装置を更新する
	車両の更新 (4年計画の2年目)	新造車両の詳細設計を進め、認可の手続きを行う

平成22年度の安全重点施策は次のとおり取り組みました。

項目	内容
安全のレベルアップ	6名が動力車操縦者運転免許を取得した 異常時訓練に加え、図上訓練やテロ対策等の各種訓練を実践的に行い、安全運行のレベルアップを図った
走行路の保全	芝浦ふ頭駅からお台場海浜公園駅間の走行路を補修した
訓練による安全への取組	・基地内に新たに設置した訓練用分岐器を活用し、訓練を行った ・更新した電気設備を中心に新たに教育訓練を実施した
電力設備の機能維持	ケーブルの絶縁診断を実施し、老朽化等により劣化したケーブルの更新を行った
安全・安定輸送の確保	・1編成について、保安・制御装置を更新した ・新造車両の基本設計を行った

【2】異常時総合訓練

第一訓練では、深川消防署有明分署のご指導の下、AEDの取扱訓練と消火器取扱訓練を実施しました。

第二訓練では駅間で落下物を巻き込み、停電で停止するという想定で車内旅客の避難誘導及び破損箇所の復旧作業を実施しました。



【3】駅構内点検訓練

大地震の発生を想定し、お客様の安全確保を最優先に一刻も早い運転再開を図れるよう、運輸区社員が他部署の社員を対象に教育訓練を実施しました。



【4】運輸安全マネジメント評価

当社は平成22年9月22日に国土交通省関東運輸局による「運輸安全マネジメント評価」を受けました。今後もより一層の安全管理体制の強化に取り組んでまいります。



【5】安全のための支出

平成22年度は、安全の維持・向上のため、営業収入の21.1%に当たる総額17億円を設備や施設・車両の更新工事(1.4%)、修繕(3.3%)、保守管理(10.2%)、その他(6.2%)に充てました。



6. ゆりかもめの安全を支える設備

ゆりかもめは、ATO(自動列車運転装置)を中心とするコンピュータシステムによる自動運転を行っており、ATC(自動列車制御装置)により安全な運行を確保しております。

また、地震に対する備えとして、次のような設備によりお客様の安全を確保しております。

◆地震計

地震が発生した際、当社の地震計により震度を測定し、震度5弱以上で運行管理システムを通じて自動で列車の非常停止を行います。この場合、走行路や電車線、車両等の安全確認を行った後に運転を再開します。



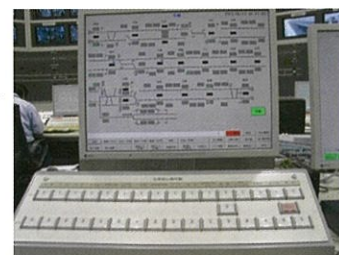
◆緊急地震速報システム

平成20年9月に導入しました。このシステムは、気象庁から配信される緊急地震速報を受信し、予測震度5以上の場合は係員により列車の非常停止を行います。



◆出発一斉抑止ボタン

平成23年3月に導入しました。このシステムにより、緊急時に係員が迅速に運転規制を行うことが出来るようになり、安全運行に大きく寄与しています。



2011 安全報告書



7. お客様へのお願い

ゆりかもめは自動運転をしております。閉まりかけた扉への無理なご乗車は、危険ですとおやめ下さい。今後とも安全運行に、お客様のご協力をお願いいたします。

8. お問い合わせ

この安全報告書や当社の安全への取組に対するご意見・ご感想をお寄せください。

総務部 総務課

- TEL 03-3529-7777 (代) 9:00 ~ 17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)
- FAX 03-3529-7770
- URL <http://www.yurikamome.co.jp>



株式会社ゆりかもめ

この安全報告書は、当社における輸送の安全確保の取組みや安全の実態をまとめたものです。
(2011年9月発行)